

新規種解説資料

ベニドウダン

種子植物・ツツジ目
ツツジ科

Enkianthus cernuus (Siebold et Zucc.) Makino f. *rubens* (Maxim.) Ohwi

今回評価	絶滅危惧IA類
環境省(2020)	指定なし
環境省(2014)	指定なし

評価理由	2021年に1地点でごく少数の個体が発見された。特殊な立地に依存することに加え、園芸採取の対象となり、絶滅の危険性は高いと考えられる。
------	---

適用基準	定量D
------	-----

主な危険要因	森林伐採、園芸採取、動物食害(ニホンジカ) 分布域全域で深刻なニホンジカによる食害がみられる。また、生育地の間際まで森林が皆伐され、直射光が林床に届く状態にある。さらに、花が美しく、園芸採取が懸念される。
--------	---

総産地数	2
現存	2
不明	0
絶滅	0

特記事項	2001年版の群馬県レッドデータブックに「希少」として記載があるが、過去の確認地点が確実に県内にあると断定できる証拠がなかったため、2012年版レッドデータブックでは除外された。しかし、過去に記録された山域と、さらに別の1つの山域において、確実に群馬県内に生育することが確認されたため、再び群馬県自生種として評価対象とした。
------	--

県内の分布状況	
利根	
吾妻	
中部	
西部	○
東部	

シキンカラマツ

種子植物・キンポウゲ目
キンポウゲ科

Thalictrum rochebrunianum Franch. et Sav.

今回評価	絶滅危惧II類
環境省(2020)	指定なし
環境省(2014)	指定なし

評価理由	分布域が狭い上に、やや特殊な環境に依存する。総個体数は数100と見積られるが、生育地の多くは過去にリゾート開発の影響を受けた。また、園芸目的の採取が確認されている。
------	--

適用基準	定量D
------	-----

主な危険要因	湿地開発、土地造成(その他)、園芸採取 分布域全域にリゾート開発のリスクがある状況である。加えて園芸用や切り花として採取されている形跡がある。
--------	--

総産地数	8
現存	6
不明	2
絶滅	0

特記事項	別荘地や観光施設内に生育する場合もあり、正確な生育状況の把握は難しい。リゾート開発で失われた生育地がある一方で、施設内の園地や自然観察路として保全されている場合もある。このような立地での保全効果も期待できるが、今後も開発や採取が続けばより高いランクへの移行も想定される。
------	---

県内の分布状況	
利根	
吾妻	○
中部	
西部	
東部	